

令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果について

庄原市教育委員会
教 育 指 導 課

○ 実施日 令和 8 年 4 月 20 日（月）～ 5 月 29 日（金）

○ 対象学年 小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年

調査実施教科の平均正答率（％）または IRT スコア

※県及び市の平均正答率については、小数点以下は公表されていない。

※中学校英語は IRT スコアで示されている。IRT とは、生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定する統計理論のこと。

		庄原市	広島県	全 国
小学校	国 語	66	64	60.9
	算 数	58	58	56.4
中学校	国 語	65	64	63.9
	数 学	56	57	57.0
	英 語	505～514	493	499

○ 国語の結果

小学校の国語においては、県平均正答率を 2 ポイント、全国平均正答率を 5.1 ポイント上回っている。

中学校の国語においては、県平均正答率を 1 ポイント、全国平均正答率を 1.1 ポイント上回っている。

○ 算数・数学の結果

小学校の算数においては、県平均正答率と同等、全国平均正答率を 1.6 ポイント上回っている。

中学校の数学においては、県平均正答率を 1 ポイント、全国平均正答率を 1 ポイント下回っている。

○ 英語の結果

中学校の英語においては、県平均および全国平均 IRT スコアを上回っている。

県平均・全国平均との比較（領域等別）

▲は県平均正答率未満、△は全国平均正答率未満、

▲△は県平均・全国平均正答率未満、

下線は平均正答率 50%未満

〔小学校第 6 学年・国語〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	▲66.8	70.2	66.8
		情報の扱い方に関する事項	62.8	54.9	52.3
	思考力、 判断力、 表現力等	話すこと・聞くこと	▲67.2	67.8	65.8
		書くこと	52.6	48.3	45.7
		読むこと	76.2	69.0	65.9
問題形式		選択式	67.6	64.2	61.9
		短答式	▲54.7	66.4	62.6
		記述式	67.0	59.1	54.9

〔小学校第 6 学年・算数〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の 領域	数と計算		▲61.9	62.8	61.1
	図形		59.9	57.9	55.3
	測定		▲73.3	77.6	78.1
	変化と関係		▲ <u>39.1</u>	41.9	41.1
	データの活用		52.6	51.1	48.6
問題形式	選択式		▲56.9	57.4	56.0
	短答式		▲60.0	61.1	59.7
	記述式		56.9	52.8	48.5

〔中学校第3学年・国語〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	▲61.3	62.1	63.0
		情報の扱い方に関する事項	▲65.4	70.4	70.4
	思考力、 判断力、 表現力等	話すこと・聞くこと	65.9	64.2	63.9
		書くこと	70.7	68.1	67.4
		読むこと	64.2	61.1	59.7
問題形式		選択式	▲72.1	72.3	72.7
		短答式	57.7	56.2	55.8
		記述式	50.6	47.1	45.5

〔中学校第3学年・数学〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の 領域	数と式		▲67.9	68.1	67.8
	図形		49.8	47.8	48.7
	関数		▲52.8	54.7	54.8
	データの活用		▲49.9	52.9	53.5
問題形式	選択式		61.6	59.0	59.3
	短答式		▲59.7	63.4	64.2
	記述式		43.5	39.9	39.1

〔中学校第3学年・英語〕

※中学校英語は結果が IRT スコアで示されているため、IRT バンド集計値を比較する。

IRT バンド	庄原市	広島県	全国
5	5.2	4.7	5.8
4	29.0	21.9	23.9
3	35.8	38.5	36.7
2	25.4	28.8	27.5
1	4.7	6.1	6.1

令和8年度全国学力・学習状況調査における成果と課題

1 各調査問題における無解答率の平均 (%)

小学校	庄原市	広島県	全国	中学校	庄原市	広島県	全国
国語	1.6	2.6	3.4	国語	2.3	4.1	4.9
算数	1.4	1.8	2.8	数学	7.1	8.7	10.4
				英語	1.2	2.7	3.1

※中学校英語は3技能の結果を比較している。公開問題のうち全日程に共通する問題の無解答率の平均（小数点第2位を四捨五入）

2 各調査問題における正答率 40%未満の児童生徒の割合 (%)

小学校	庄原市	広島県	全国	中学校	庄原市	広島県	全国
国語	16.7	18.7	22.2	国語	14.2	13.1	13.4
算数	23.7	25.3	28.5	数学	33.7	31.7	31.1
				英語	31.9	34.2	32.9

※小数点第2位を四捨五入

※中学校英語は3技能の結果を比較している。IRT バンド5段階中2未満の生徒の割合

3 各調査における成果と課題

※市として、これまでの指導の成果や課題と捉えている問題や、今後の指導充実につながる問題を取り上げている。

【小学校国語】

○成果

問題番号	問題の概要・趣旨	正答率		
		庄原市	広島県	全国
3二	傍線部①、②、③について【林さんのメモ】にどのように整理したのかを説明したものとして適切なものを選択する（情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる）	66.5	58.5	55.6
3三 (2)	【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く（文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる）	90.1	81.2	76.4

●課題

問題番号	問題の概要・趣旨	正答率		
		庄原市	広島県	全国
1二 (1)	【動画の一部】の工夫として適切なものを選択する（資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる）	61.3	62.0	60.2

2 四	【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く（引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる）	44.0	37.0	33.5
-----	---	------	------	------

□今後の指導の充実に向けて

- ・ 相手や目的をより一層意識した言語活動を設定する。
- ・ 引用の方法を確認しながら文章を書き、その後に交流、修正、共有といった活動を設けることで、引用して自分の考えを伝えることの意義を実感させる。

【小学校算数】

○成果

問題番号	問題の概要（趣旨）	正答率		
		庄原市	広島県	全国
1（1）	一辺が8 cmの立方体の体積を求める式を書く（立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる）	87.4	78.7	72.7
4（1）	全員分のアンケートが整理されていない学級を見付け、その根拠となる人数を表1と表2の中から書く（示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見つけ、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる）	68.1	61.7	56.2

●課題

問題番号	問題の概要・趣旨	正答率		
		庄原市	広島県	全国
2（4）	赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ（基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる）	29.3	34.4	34.2
4（3）	二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く（二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる）	15.2	17.7	17.9

□今後の指導の充実に向けて

- ・ 普段の学習問題の際に、式と解答を求めるだけでなく、それらを図を使って説明させる。形式的に式を立てて、答えを求めることができるようになった段階に改めて、「割合の意味」を振り返ったり、1.5倍の量感を図で確認したりする活動をさせる。
- ・ 二次元の表を生活場面で有効に活用できる場面を児童に実感させる。委員会活動等で二次元の表が使用できることに気付かせ、使用させる機会を仕組む。

【中学校国語】

○成果

問題番号	問題の概要（趣旨）	正答率		
		庄原市	広島県	全国
3 三	文章の展開の意図を説明したものとして適切なものを選択する（段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することができるかどうかをみる）	70.2	65.4	65.0
4 四	二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く（文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる）	44.9	42.0	38.9

●課題

問題 番号	問題の概要（趣旨）	正答率		
		庄原市	広島県	全国
1 一	「可能の意味」を含んでいるものとして適切なものを選択する（助動詞の働きについて理解しているかどうかをみる）	77.6	82.9	84.3
4 二	国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す（語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる）	40.5	36.4	35.2

□今後の指導の充実に向けて

- ・ 授業や日常会話の場面などで、助動詞を使うことで言葉が伝わりやすくなることの良さを実感・確認させる。
- ・ 語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることに課題があるため、言葉の意味にこだわった指導、語感を磨き語彙を豊かにする指導を行う。

【中学校数学】

○成果

問題 番号	問題の概要（趣旨）	正答率		
		庄原市	広島県	全国
8 (3)	図2において、証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選ぶ（具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことができるかどうかをみる）	43.9	37.4	37.1
9 (3)	「就寝時間が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する（データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる）	37.1	32.7	31.9

●課題

問題 番号	問題の概要（趣旨）	正答率		
		庄原市	広島県	全国
5	大小二つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が6で小さいさいころの目が1である確率を求める（起こりうる場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めることができるかどうかをみる）	49.3	58.7	60.2
9 (1)	全校生徒の睡眠時間の度数分布表において、最小の階級から6時間以上7時間未満の階級から6時間以上7時間未満の階級までの累積度数を求める（累積度数の意味を理解しているかどうかをみる）	37.6	45.5	46.0

□今後の指導の充実に向けて

- ・ 同時に同じさいころを投げて出る目の確率や、大小など異なるさいころを投げて出る目の確率など様々な場面で樹形図や表を用いて考えさせる。
- ・ 1年生の「データの活用」の単元では多くの言葉を学習する。それらを説明の際に意識して使わせる機会を教師が意図的に設定していく。また、表などにあらかじめ階級や相対度数などの言葉を入れておくのではなく、生徒が書き込むことを通して、言葉を理解させる。

【中学校英語】

※中学校英語は、生徒ごとに異なる問題を解いているため、公開問題のうち全日程に共通する問題の中から取り上げる。

○成果

問題 番号	問題の概要（趣旨）	正答率		
		庄原市	広島県	全国
1	注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する（音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる）	63.7	57.4	60.2
6	文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する（音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる）	68.7	68.6	67.3

●課題

問題 番号	問題の概要（趣旨）	正答率		
		庄原市	広島県	全国
10(1)	インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを選択する（社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる）	43.3	47.3	47.5
10(2)	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く（社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる）	28.4	26.7	27.8

□今後の指導の充実に向けて

- ・ 文章を読んで要点を捉えた後、自分の考えをキーワードでメモに整理させたり、思考ツールに整理させたりする。また、ペアでやり取りさせ、話題に関する理解を深めてからメモに整理させる。
- ・ 簡単な「書くこと」の活動を繰り返し行わせる。
- ・ 正確に書く力を高めるために、生徒同士でコメントさせ合ったり、教師からのフィードバックを与えて表現を考えさせたりする。